

平成30年(2018年)

札幌管区気象台 気象防災部
地球環境・海洋課
(2018年10月1日)

北海道地方 9月の天候

気候表 (データは速報値であり、後日変更される場合があります)

| 官署名 | 本年 | | | 平年差・平年比 | | |
|------|---------|-----------|-----------|---------|----------|-----------|
| | 気温 ℃ | 降水量 mm | 日照時間 h | 気温 ℃ | 降水量 % | 日照時間 % |
| 稚内 | 17.4 | 56.0 | 218.2 | +0.6 | 45 | 123 |
| 北見枝幸 | 16.7 | 71.5 | 192.1 | +0.7 | 51 | 119 |
| 羽幌 | 17.4 | 35.5) | 207.5 | +0.5 | 25 | 117 |
| 雄武 | 16.3 | 34.0 | 186.3 | +0.8 | 25 | 113 |
| 留萌 | 17.1 | 46.5 | 192.6 | +0.3 | 33 | 113 |
| 旭川 | 16.4 | 26.0 | 165.6 | +0.5 | 20 | 116 |
| 網走 | 17.3 | 10.0 | 190.5 | +1.0 | 9 | 115 |
| 小樽 | 18.2 | 41.5) | 173.4 | +0.5 | 33 | 105 |
| 札幌 | 18.9 | 49.5 | 184.4 | +0.8 | 37 | 115 |
| 岩見沢 | 17.7 | 23.0 | 169.2 | +0.8 | 18 | 102 |
| 帯広 | 17.1 | 67.5 | 148.4) | +0.8 | 49 | 104 |
| 釧路 | 16.4 | 81.5 | 148.8 | +0.4 | 52 | 99 |
| 根室 | 16.3 | 68.5 | 151.3 | +0.6 | 41 | 104 |
| 寿都 | 18.2 | 69.5 | 154.4 | +0.4 | 50 | 99 |
| 室蘭 | 18.5 | 66.5 | 181.0 | +0.5 | 40 | 108 |
| 苫小牧 | 18.0 | 53.0) | 164.1 | +0.6 | 32 | 107 |
| 浦河 | 17.8 | 61.0 | 169.1 | +0.5 | 43 | 106 |
| 江差 | 19.4 | 72.5 | 170.9 | +0.3 | 54 | 105 |
| 函館 | 18.7 | 156.0 | 158.3 | +0.4 | 102 | 100 |
| 倶知安 | 16.1 | 96.0 | 160.0 | +0.2 | 72 | 106 |
| 紋別 | 17.0 | 19.5 | 182.0 | +0.9 | 15 | 112 |
| 広尾 | 16.7 | 167.0) | 139.5) | +0.7 | 63 | 103 |

階級分布図



注)「)」付きの値は欠測を含む。「)」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

(気温は平年差(℃)、降水量・日照時間は比(%)を示す)

| | 気温 | 階級 | 降水量 | 階級 | 日照時間 | 階級 |
|------------|------|----|-----|----|------|----|
| 北海道22地点平均 | +0.6 | 高 | 41 | か少 | 109 | 並 |
| 日本海側10地点平均 | +0.5 | 高 | 39 | か少 | 110 | 多 |
| ホツツ海側4地点平均 | +0.9 | 高 | 25 | か少 | 115 | 多 |
| 太平洋側8地点平均 | +0.5 | 高 | 52 | か少 | 104 | 並 |

月統計値の記録 (第3位まで)

(詳細は、最終ページの表を参照してください。)

月降水量 (少ない) 第1位 雄武 留萌 旭川 網走 岩見沢 紋別

階級は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階に分けています。
各階級の幅は、平年値の作成期間(1981年~2010年の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。
また、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

— 『高温・少雨・並照』 中旬は高気圧に覆われ、顕著な少雨・多照 —

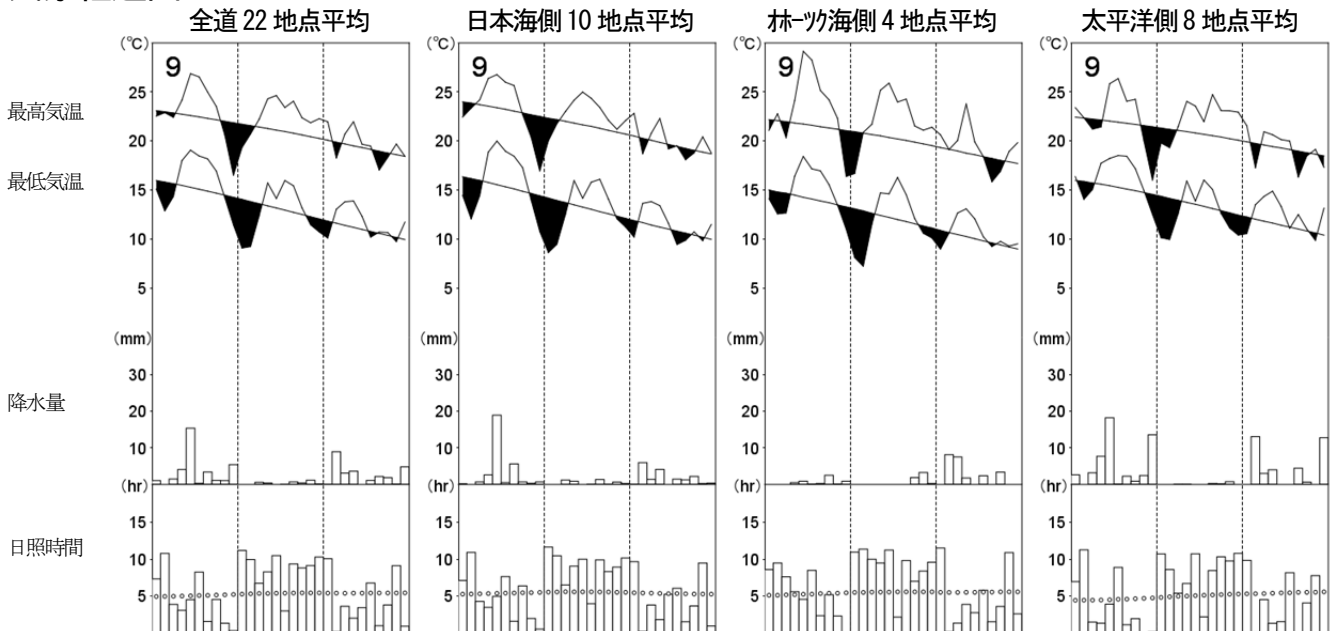
この期間の天気は、上旬は低気圧や気圧の谷の影響で雨の降った日が多く、5日は台風第21号の影響で全道的に雨が降り、大荒れの天気となった所もあった。中旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。下旬の天気は数日の周期で変わった。気温は上旬と下旬は平年より高く、月平均気温も高かった。降水量は中旬は平年よりかなり少なく、下旬は少なく、月降水量はかなり少なかった。日照時間は上旬は平年より少なかったが、中旬はかなり多く、下旬はかなり少なく、月間日照時間は平年並だった。なお、1961年の統計開始以降、中旬の太平洋側と北海道地方の降水量は最も少なく、日照時間は北海道地方及び各地域で最も多かった。また、1946年の統計開始以降、日本海側とオホーツク海側の月降水量が最も少なかった。

上旬:1日は次第に高気圧の張り出しの中となって晴れた所が多かったが、気圧の谷の影響で雨の降った所もあった。2日は高気圧に覆われて全道的に晴れた。3日は高気圧の張り出しの中となって、日本海側北部やオホーツク海側を中心に晴れたが、湿った気流の影響で日本海側南部や太平洋側では雨の降った所があった。日降水量は白老町森野で72.0mmなど。4～5日は気圧の谷や台風第21号の影響で全道的に雨が降り、大荒れの天気となった所もあった。日降水量は4日に釧路市音別町二俣で58.0mm、5日に伊達市大滝で116.0mmなど。6日は気圧の谷の通過により、大気の状態が不安定となって日本海側などで雨の降った所があったが、次第に気圧の尾根の中となって広い範囲で晴れた。7日は前線を伴った低気圧の影響で雨の降った所が多かった。8日ははじめ気圧の谷の影響で雨の降った所があったが、次第に高気圧の張り出しの中となって日本海側を中心に晴れた。9～10日は気圧の谷の中となって太平洋側を中心に雨の降った所が多かった。

中旬:11～12日は高気圧に覆われて全道的に晴れた。13～14日は高気圧に覆われて広い範囲で晴れたが、気圧の谷の影響で雨の降った所もあった。15日は高気圧の張り出しの中となって全道的に晴れた。16日は気圧の谷の影響で曇った所が多く、雨の降った所もあった。17～19日は高気圧の張り出しの中となって全道的に晴れたが、上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となって雨の降った所もあった。20日は気圧の谷の影響で日本海側南部を中心に雨の降った所があったが、次第に高気圧の張り出しの中となって全道的に晴れた。

下旬:21日は高気圧に覆われて全道的に晴れた。22～23日は低気圧を含む気圧の谷の影響で全道的に雨が降り、大雨となった所もあった。日降水量は22日に登別市カルルスで97.0mmなど。24日は前線を伴った低気圧が接近して大気の状態が不安定となり、日本海側や太平洋側西部を中心に雨が降った。日降水量は奥尻空港で67.0mmなど。25日は気圧の谷の影響で雨の降った所があったが、次第に高気圧の張り出しの中となって日本海側を中心に晴れた。26日は高気圧に覆われて広い範囲で晴れたが、気圧の谷の影響で雨の降った所もあった。27～28日は気圧の谷の影響で雨の降った所が多かった。日降水量は28日に知内で58.5mmなど。29日は高気圧に覆われて広い範囲で晴れた。30日は前線と台風第24号の影響により広い範囲で雨が降った。日降水量は浦河町中杵臼で67.0mmなど。

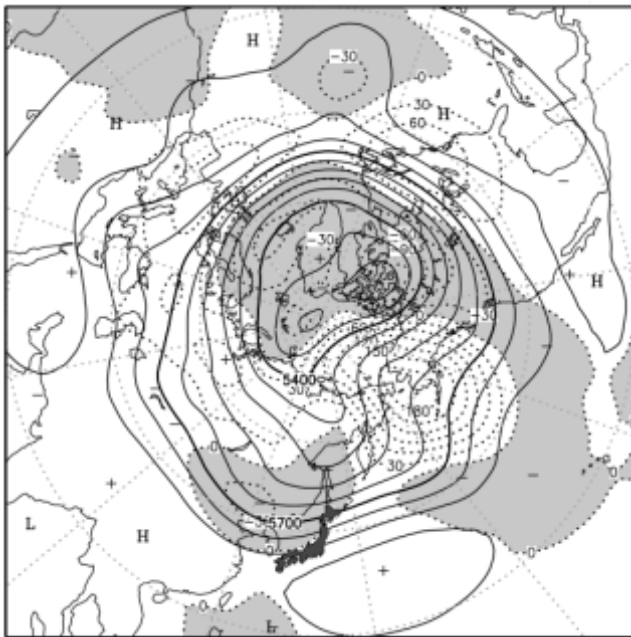
気象経過図



旬別気候表 (気温は平年差(°C)、降水量と日照時間は平年比(%))を示す)

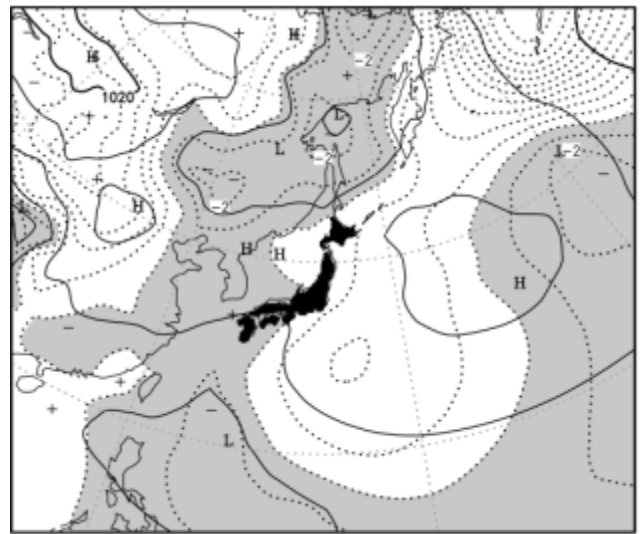
| | 北海道全域 | | | 日本海側 | | | オホーツク海側 | | | 太平洋側 | | |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 |
| 気温 | +0.7 高 | +0.5 並 | +0.5 高 | +0.5 高 | +0.5 並 | +0.4 並 | +1.1 高 | +0.8 高 | +0.6 高 | +0.7 高 | +0.4 並 | +0.5 高 |
| 降水 | 60 並 | 8 少 | 54 少 | 63 並 | 11 少 | 39 少 | 11 少 | 12 少 | 55 少 | 81 並 | 2 少 | 72 並 |
| 日照 | 89 少 | 161 多 | 74 少 | 90 少 | 159 多 | 79 少 | 104 並 | 163 多 | 79 少 | 82 少 | 164 多 | 67 少 |

9月の大気の流れ（北半球の平均天気図の特徴）



9月の500hPa 天気図

実線：等高度線（m）、点線：高度の年平均偏差（m）
 陰影部は、平年より高度の低い負偏差の領域を示す。この領域では平年より気温が低い傾向がある。
 日本の上空では、風は等高度線に沿って西から東に吹いている。等高度線が南北に波打っている状態は偏西風が蛇行していることを、等高度線の間隔が狭い所では偏西風が強いことを示す。



9月の地上天気図

実線：等圧線（hPa）、点線：気圧の年平均偏差（hPa）
 陰影部は、平年より気圧が低いことを示す。この領域では、平年より気圧の谷や低気圧の影響を受けやすい。

・500hPa（上空約5500m）天気図

偏西風が中国東北区付近で南に蛇行して日本付近は南から暖かい気流が入りやすかった。北海道付近は負偏差となっており寒気の影響を受けた時期があった。

・地上天気図

日本付近は広く正偏差で北海道付近も高気圧に覆われやすかったが、サハリン付近が低圧部となっており、北海道付近は気圧の谷などの影響を受ける時期があった。また、秋雨前線は本州方面に停滞することが多かった。

北海道上空の気温経過

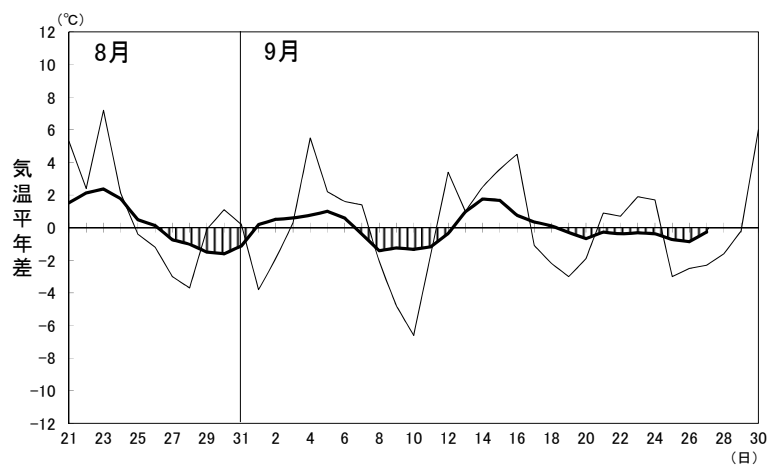
9月の札幌における850hPaの気温平年差

・7日移動平均（太線）

平年を上回る時期と下回る時期が交互に現れたが、下旬は下回る日が多かった。

・日別値（細線）

平年を上回る日と下回る日が短い周期で現れた。上旬は気温の変動が大きかった。



8月下旬から9月の札幌における850hPa(上空約1500m)気温平年差
 (細線：日別、太線：7日移動平均、陰影線：7日移動平均の負偏差)

月統計値の記録の詳細（第3位まで）

| 期間 | 要素 | 順位 | 地点 | 本年 | 平年差(比) | これまでの1位(年) | 統計開始年 |
|----|------------|-----|-----|---------|--------|-------------|-------|
| 9月 | 月降水量 (少ない) | 第1位 | 雄武 | 34.0 mm | 25 % | 51.7 (1956) | 1942 |
| | | | 留萌 | 46.5 mm | 33 % | 56.0 (2016) | 1943 |
| | | | 旭川 | 26.0 mm | 20 % | 32.5 (2002) | 1888 |
| | | | 網走 | 10.0 mm | 9 % | 28.5 (1908) | 1889 |
| | | | 岩見沢 | 23.0 mm | 18 % | 47.0 (1978) | 1947 |
| | | | 紋別 | 19.5 mm | 15 % | 30.5 (1980) | 1956 |

お問い合わせ先

札幌管区气象台気象防災部 地球環境・海洋課
TEL (011) 611-6174